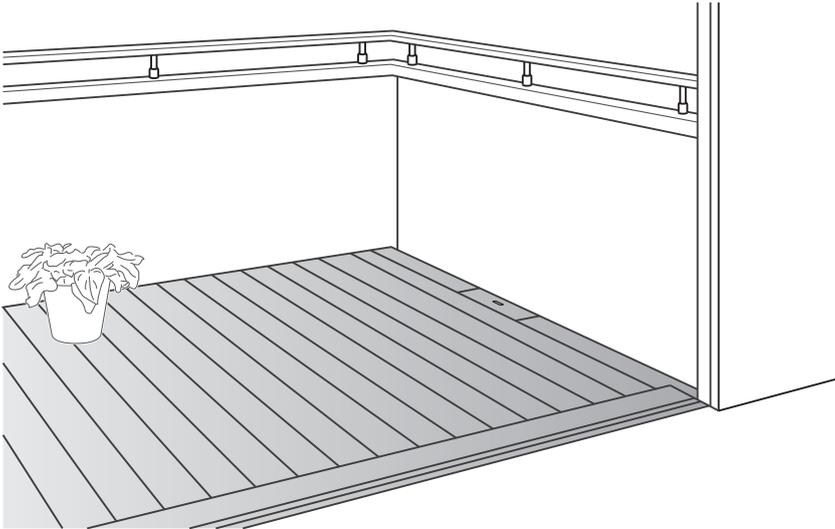


LIXIL

取扱説明書

人工木デッキ ベランダ仕様



もくじ

ページ

各部名称

1

点検口の扱いかた

3

お手入れとキズの補修

5

安全上のご注意

7

修理と保証

9

保証書

11

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。



行なってはいけない内容です。



必ず実行していただく内容です。

お願い

取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

保証書付き

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

人工木材の扱いかた

お願い

- ・製品の表面をとがったもので突かないでください。部材が破損する原因になります。
- ・近くで火気（焚き火、暖房器具、コンロなど）を使用しないでください。部材が変形・破損する原因になります。

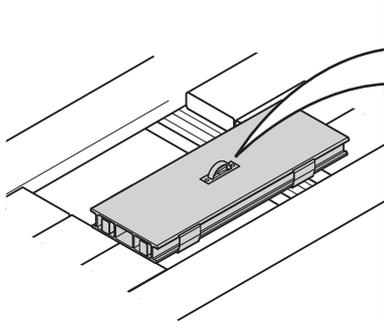
補足

- ・人工木材は樹脂を含んでいるため、歩行などの摩擦で静電気を帯びる場合があります。
- ・温度差による影響で、ご使用に差し支えない範囲で多少の伸縮や反りが発生する場合があります。
- ・人工木材の表面は水をほとんど吸わないため、わずかな反りの部分に、降雨などで水たまりができる場合があります。
- ・床板表面の状態や、水たまりの大きさの違いにより、床板ごとに乾燥時間に差が生じる場合があります。
- ・長期間使用時に色あせに伴い粉が発生します。洗濯物、布団などを直接置かないでください。粉の付着で汚れる場合があります。

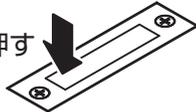
点検口

(オプション)

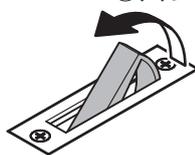
取っ手



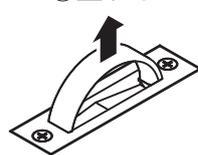
① 押す



② 回す

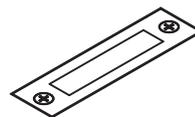


③ 上げる



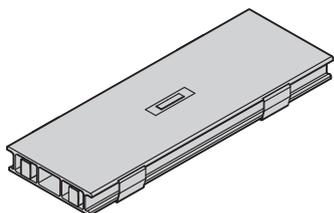
お願い

- ・ご使用後は必ず図の状態に戻してください。

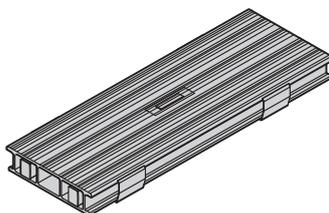


点検口のバリエーション

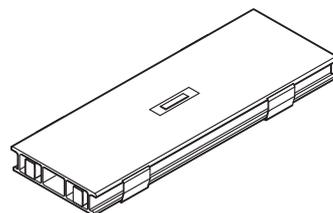
● 樹ら楽、デッキ DS



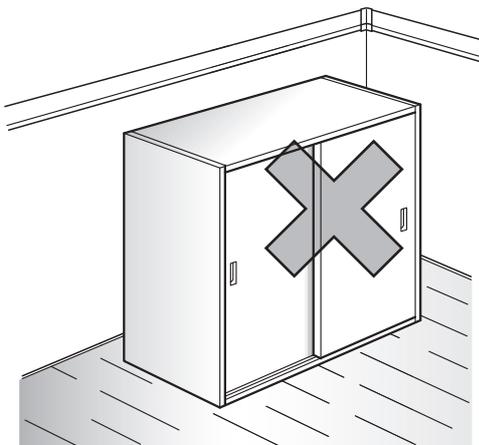
● 木彫、デッキ DC



● レストステージ



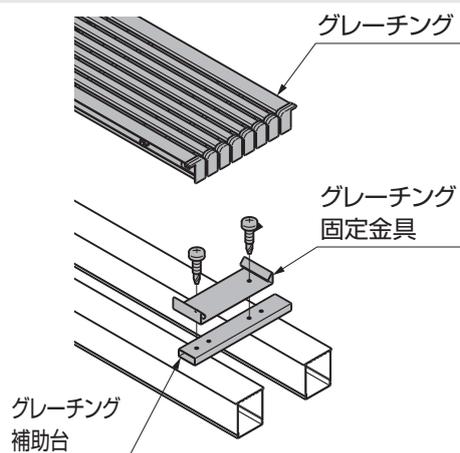
デッキ



お願い ・制限荷重は短期間かかる場合、1㎡あたり183kgまでです。長期間重量物を載せたままにしないでください。デッキ材のへこみや色が周囲と変わる場合があります。

幅調整材

グレーチング (オプション)

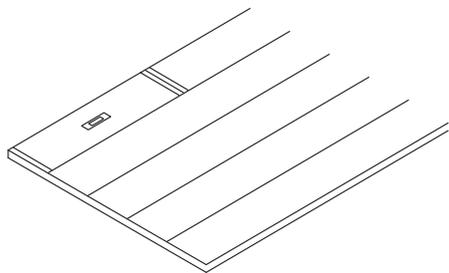


点検口の扱いかた

点検口の位置によって点検口の開閉方法が異なります。
お使いのデッキの点検口の位置をご確認ください。

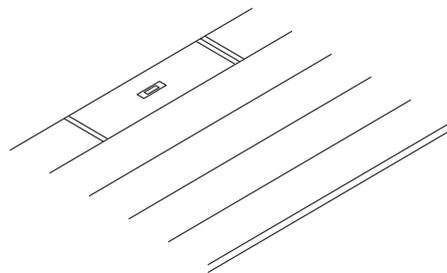
点検口の扱いかた

取付位置A



先端端部

取付位置D

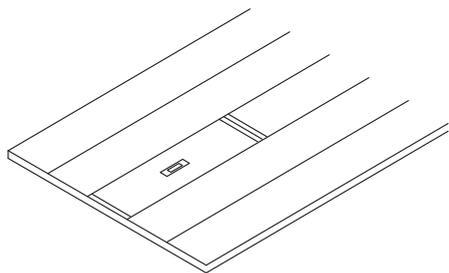


中間端部

横張り

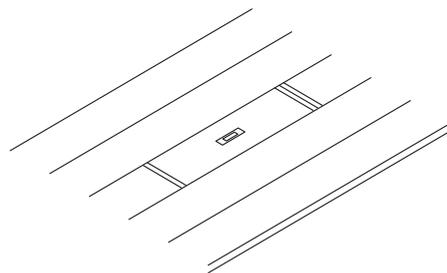
縦張り

取付位置B



先端中央

取付位置C

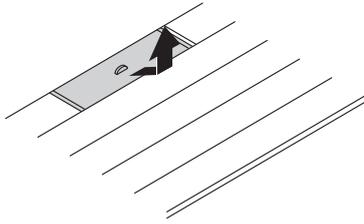


中間中央

点検口の取外しかた

取付位置A 取付位置D

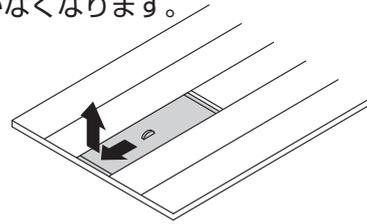
手前を傾けてから上へ持ちあげる



取付位置B

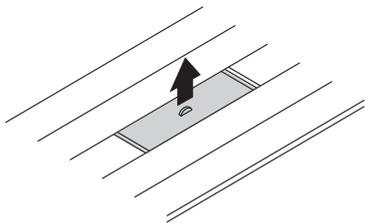
端へ寄せてから持ちあげる

- ・ ずらすことで中間用回転防止部材の引っかかりがなくなります。



取付位置C

そのまま上へ持ちあげる



補足

- ・ 点検口には、点検口を安全に使用するための部品（回転防止部品）がついています。この部品は、点検口端部に体重がかかった際に、点検口床板が跳ね上がらないようにする役割があります。

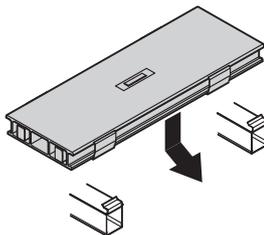
お願い

- ・ 点検口や躯体がキズつかないように注意してください

点検口の取付けかた

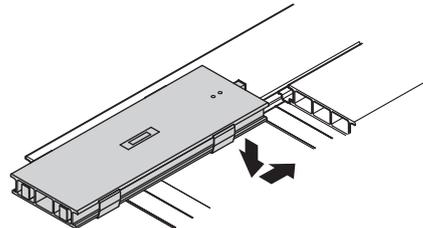
取付位置A 取付位置D

点検口の下部を端部用回転防止金具にはめこむ



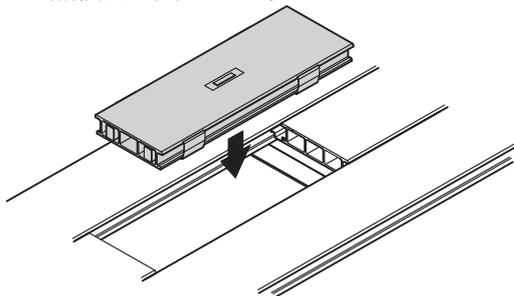
取付位置B

点検口の中間用回転防止部材を床材のホロー内に挿しこむ



取付位置C

点検口の真っすぐ下におろす



お願い

- ・ 点検口は使用后、必ず元の状態に戻してください。
- ・ 隣の床板（デッキ）と上面がそろっていることを確認して確実に閉じてください。

お手入れとキズの補修

デッキ、点検口

人工木材 お掃除回数：定期的に

雨シミが発生した場合には…



- ①全体に十分に散水
 - ②乾かさないうちに水を拭き取る
- ※それでも取れない場合は繰り返す

お願い サンドペーパーでこすってのシミ取りは行なわないでください。

汚れが軽い場合には…



- 汚れが軽い場合は…
水拭き→乾拭き

汚れがひどい場合には…

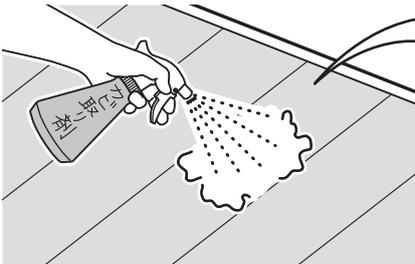


- 汚れがひどい場合は…
薄めた中性洗剤を使用し、
清掃ブラシで汚れを落とす
→洗剤が残らないように水洗い
→乾拭き

お願い

- ・金属製ブラシやスチールウールは使用しないでください。表面をキズつけます。
- ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。

カビ(黒い斑点)が発生した場合には…



- ①水洗い→乾拭き→乾燥
- ②カビ取り剤をスプレー
- ③こすらずに放置
(待ち時間を守ってください)
- ④カビ取り剤を水で洗い流す→乾拭き

※これらの方法で全ての種類のシミを落とせるわけではありません。

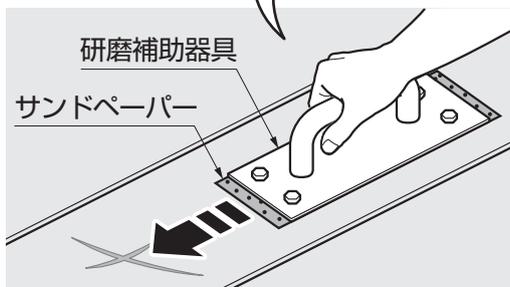
次亜塩素酸塩系カビ取り剤(カビキラーなど)を使用してください。

●高圧洗浄機を使用する場合は、付属の取扱説明書に従い、長手方向に噴射をしてください。最後に水を拭き取ってください。

※噴射時は高圧洗浄機のノズルを部材に近づけ過ぎないでください。表面が割れてしまい、ムラ等が発生する原因となりますので、十分ご注意ください。

デッキ キズの補修

60～80番のサンドペーパーで
デッキの長手の順目方向にこする



お願い ・強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうことがあります。

補足 ・1ヶ所を集中的にこするのではなく全体をぼかす感じでこすってください。
・平らな面を補修する場合は、市販の研磨補助器具（サンドペーパーを取付ける道具）を使用すると便利です。
・デッキDSはナイロン不織布（例：スコッチブライト）を使用してください。
・深いキズは補修できません。

グレーチング アルミ型材 お掃除回数：年に2～3回

お願い ・金属製ブラシやスチールウールは使用しないでください。表面をキズつけます。
・お掃除前にアルミ表面に付着した小石や砂は取り除いてください。
・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。



●汚れが軽い場合は…
水拭き→乾拭き

●汚れがひどい場合は…
薄めた中性洗剤を使用し、
汚れを落とす
→洗剤が残らないように
水洗い→乾拭き

●サビが出ている場合は…
中性洗剤をつけたスコッチ
ブライト、目の細かいヤスリ
などでサビを落とす
→水洗い→乾拭き



安全上のご注意

⚠ 注意 デッキ上



禁止

●日差しが強いときに乳幼児を1人で遊ばせない！

やけどをするおそれがあります。



必ず実行

●濡れているときは注意！

すべりやすいので転倒しないように注意してください。

●ハイヒールのような一点に荷重のかかる履物で、デッキ上を歩かない！

床板連棟部などのすき間に引っ掛かり、床板の破損や転倒によるケガをするおそれがあります。

●必ず履き物を履いて！

やけどをするおそれがあります。

⚠ 警告 デッキ



禁止

●手すりの近くに物を置かない！

特に小さなお子さまがいる場合は、手すりの近くには、植木台や椅子、テーブル、箱などのように足掛かりとなるような物を置いたままにしないでください。また、エアコン室外機は足掛かりとまらない位置に設置するか、上から吊るすなど、設置場所にご注意ください。お子さまが上に乗って転落するなど、人身事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意 デッキ上



必ず実行

●早めの雪下ろし！

- ・下の表の積雪量になる前に、雪下ろしをしてください。ケガや事故につながるおそれがあります。
- ・雪の重さは雪の状態によって変化します。特に春先の雪は重くなります。
- ・雪下ろしの際、雪はできるだけ残さずに下ろしてください。雪を残すと氷状になり、たいへん重くなります。
- ・雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。

雪の種類	新雪 新しく降った粉上の雪。 (雪比重：0.3)	締雪 水分を含んだやや重い雪。 降り積もって圧縮された雪。 (雪比重：0.5)	粗目雪 水分を含んで凍っていて粒の大きな雪。 (雪比重：0.7)
積雪量	60cm	36cm	25cm

警告 点検口



●修理・改造をしない!
ケガ、重大な事故につながるおそれがあります。

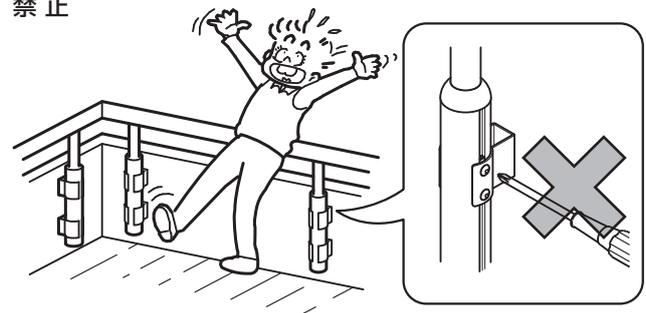
禁止

警告 ベランダ仕様



●ボルト、ネジ、ナットは絶対にゆるめない!

禁止



デッキから手すりまでの高さが1100mm以上ないと、転落するおそれがあります。

注意 点検口



必ず実行

●点検口の開放厳禁!
取っ手は必ず収納!



足を引っ掛け転倒し、ケガをするおそれがあります。

●閉めるときは要注意



手足や指などをはさみ、ケガをするおそれがあります。

修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	

- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

(5) 交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001
にご連絡ください。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

人工木デッキ ベランダ仕様 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前 様	
	電 話 ()	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合
には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束する
ものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場
合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご
依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管
してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電話 ()	

株式会社 LIXIL

- 保証者**
株式会社LIXIL
 - 保証の対象者**
当該商品の所有者
 - 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
 - 保証内容**
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
 - 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
 - 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ② 取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
 - ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
 - ⑥ 商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
 - ⑦ 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
 - ⑧ 環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
 - ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
 - ⑩ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
 - ⑪ 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
 - ⑫ 所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
 - ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。
- ※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

EXM-122

JZ638982A
202312A_1049